

発表番号	チーム名	建築指導課建築防災・安全担当
	担当者【所属名】	椋平芳智、丸山忍、鈴木久美子、杉本綾亮、中谷綾子、中西里佳【建築指導課】
Ⅱ-7		

タイトル	地震につよい住まいづくり推進フェアの改善
------	----------------------

アピールポイント	耐震改修の重要性や耐震化支援制度等の情報を、業界主催のイベント等を活用しターゲットであるリフォーム検討中の府民の手元へ効果的・効率的に届ける
----------	--

背景	<p>○非科学的な思い込みをされている声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都に大地震はこない ・ 大地震がきても我が家は大丈夫 <p>○リフォーム現場へ情報が行き届いていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震改修しても効果がわからない ・ 3千円で耐震診断ができることを知らなかった ・ 最高90万円の耐震改修補助制度を知らなかった
----	--

改善内容	<p>【従来型フェア】府民が多数集まる週末のショッピングセンターや、ホームセンター等の店頭で、来場者へ普及啓発を実施。市町村、消防、建築団体等と打ち合わせを重ね、広報、会場設営を実施。</p> <p>↓</p> <p>【改善型フェア】リフォームを検討している府民が多数集まる、建材メーカー・建材問屋・工務店等が開催するイベント会場で、来場者へ普及啓発を実施。イベント主催者が打ち合わせを重ね、広報、集客、会場設営等を実施。</p>
------	---

成果	<p>①従来型フェアは、多数の府民へ広く普及啓発する上で一定効果が認められるが、改善型フェアにより、ターゲット（リフォームを検討している府民）へ、より多く効果的に普及啓発を行うことができた。</p> <p>②改善型フェアでは、リフォーム現場でターゲットに直接対面する工務店や、それらの工務店へ日常的に連絡を取り合う建材問屋・メーカーへ普及啓発を行うことができたため、さらに多くのターゲットへの啓発効果が期待できる。</p> <p>③改善型フェアでは、関係者の協議、調整、広報、集客、会場設営等の事務を大きく削減できるなど、事務効率性が高い</p>
----	---

今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月の改善型フェア以降 メーカー・問屋主催の耐震講習会に出講増 ・ " " メーカー・問屋から工務店等へ耐震パンフ発送増 ・ 3月の改善型フェアは主催者から府や耐震NPOへブース出店依頼 など <p>⇒ 好循環へ確実に繋げていく</p>
-------	--

住宅の耐震化の推進

目標 平成27年住宅の耐震化率90%

施策 耐震診断制度 (H16~)
耐震改修制度 (H19~)

普及啓発の取り組みと改善

事業者向け

(改善)

団体を活用 ⇒ 業界ルートを活用
講習会を主催 ⇒ 業界主催講習会を提案
⇒ 実績事業者情報

府民向け

⇒ のほり旗で口コミ誘導
府広報ツール ⇒ 業者協賛を企画
出前講座 ⇒ NPO活用を提案
従来型のフェア ⇒ 地域主催を誘導
改善型フェア

改善型

好循環

民間リフォームイベントで普及啓発

- 多数の来場者＝リフォーム検討府民へPR
 - ・ターゲットへ直接PRが効果的に
- イベント主催者＝メーカー・工務店等へのPR効果
 - ・さらに多くのターゲットへ啓発効果が期待
- フェア実施に係る労力・経費等が効率的
 - ・準備、運営省力。民間ならではの集客力